

(単元) 人権ポスターの図案を考えよう

(本時のねらい)

ポスターの役割を理解し、主題を生成できる。主題に沿った標語や図案の構想を練り、アイデアスケッチができる。

(ICT活用方法)

ポスター制作をする上で、注意する点について説明をするために、作品例を提示しながら発問をする。従来は四つ切りサイズの作品を使い、提示していたが、パワーポイントにまとめることで、注目しやすく、部分的に拡大をして見せることもできる。どんな作品が啓発になるのか、具体例をまとめ、構想を練るときのヒントにしたい。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用法	備考
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を確認する。</li> <li>・作品例を見ながら、制作上の注意点を理解する。</li> <li>・同じ主題でもプラス思考の作品とマイナス思考の作品では、見る人が持つイメージが変わることを理解する。</li> <li>・レタリングの方法や注意点を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材名を確認し、夏休みの宿題のアイデアを練ることを知らせる。</li> <li>・作品例を見せながら、著作権や肖像権を侵さないことを注意喚起する。</li> <li>・作品例を見せながら、どんなイメージを持ったか、質問をする。ポスターの持つ役割について意識させる。</li> <li>・レタリングの方法について説明し、文字の持つ印象の大切さを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規制のキャラクターを使った作品例や背景を着彩していない作品、レタリングがきちんとできていない作品を提示する。</li> <li>・配色やテーマが暗い印象の作品と、明るい展望が見える作品をそれぞれ何点かずつ提示する。</li> <li>・「思いを伝える」という文字を6種類のフォントで表示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部分的に拡大をする。</li> </ul>

<p>展開 30分</p>	<p>・ワークシートを使ってアイデアスケッチをする。</p>	<p>・机間巡視をしながら、主題の生成やアイデアのまとめ方について助言をする。</p> <p>・標語から考えるか、図案から考えるかは生徒に任せる。</p> <p>・縦画面か横画面かを構図によって、よく考えるように注意を促す。</p>		
<p>まとめ 10分</p>	<p>・アイデアスケッチを見ながら、制作の意図を聞く。(当たった生徒は発表をする。)</p> <p>・本時のまとめを聞く。</p>	<p>・何人かのアイデアスケッチを撮影し、投影しながら制作の意図を発表してもらう。</p> <p>・進度を確認し、続きは宿題になることを知らせる。提出日を再度、確認する。</p>	<p>・タブレットでアイデアスケッチを撮影し、投影する。</p>	

(授業の様子)



レタリング ～文字のデザイン～

<丸ゴシック体> <b>思いを伝える</b>	<教科書体> 思いを伝える
<ポップ体> <b>思いを伝える</b>	<ゴシック体> 思いを伝える
<動き流> <b>思いを伝える</b>	<流麗明朝体> 思いを伝える

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

大きい画面に作品を投影したり、細部の表現を拡大したりすることで、生徒はよく注目できていた。制作の前の課題説明で、できるだけたくさんの作品を見せ、アイデアを練るときのヒントにしたいので、参考作品を記録として残し、分類しながらまとめておくことで、整理ができると感じた。鑑賞の時間についても、教材を自作することで、生徒に意見を交換させる場を増やすことができると感じた。